

れふして感謝かんしゃしました。

このことがあつてから、この地蔵じぞうさまは、村人むらびとから、「はな取り地蔵じぞうさま」とよばれ、現在げんざいもあつく信しんこうされているそうです。

きつねの贈おくりもの

むかしむかし、はたらきもので心こころのやさしい、長兵衛ちやうべえという百姓ひやくしやうがいました。長兵衛ちやうべえは、朝あさに夕ゆふに、百姓ひやくしやうのひまをみては、鉄ぼうをかついで山やまにはいり、鳥とりやけだものをとつてくらしていました。

ある日ひの夕方ゆふがた、長兵衛ちやうべえは、妙見山みやうげんやまの山道やまみちで、初老しよらうをちよつとすぎた、人品じんぴんのいい親父おやとであいました。そして、二・三日さんにちたって、また、同じ山道やまみちでこの親父おやとであいま